



武蔵村山市立第一小学校 学校だより

令和6年2月29日



温かいお気持ちに感謝

校長 押本 純樹

その電話があったのは、8月最後の週でした。日本テレビ局「撮れ高」の番組担当者が物腰丁寧な言い方で、本校での撮影収録を依頼してきました。企画内容と日程について、簡単な説明を受けたときには、子供たちにとって楽しい思い出になると考え、収録に協力することにしました。あとで聞いた話ですが、都内のどこの学校に電話しても断られ、困っていたそうです。

それから具体的な話が始まり、9月4日にはお笑いタレントの上田晋也さんと若林正恭さんを本校に迎えました。46分間の番組を構成するおもしろい場面が撮れるまで、収録を続ける流れでしたが、思いの外、撮影は早く終わりました。そこには、子供たちや先生たちの生き生きとした反応があり、帰りの車の中でお二人がとても元気の良い学校だったと言っていたそうです。それを聞いたときは、うれしかったです。

そして、何よりこの取組について、お叱りというのか、そういったものは、保護者を始め、どこからもありませんでした。誰もが本校の子供たちの素直さや明るさ、元気の良さを感じ取り、おもしろかったと伝えてくれました。日本テレビ局側も人権や個人情報に配慮をしてくれましたが、放送内容をどう感じ取るかは、見る側の個人的な気持ち次第です。どう受け取られるか、心配なところがありましたが、皆様が温かく受け入れてくださったと感じました。

一校を預かる校長として、そういったことを意識していないわけではなく、受け入れに当たっては通知文を出し、御理解と御協力をお願いしました。それでも、不安や心配があり、放送後にPTA運営委員会でこういったテレビ撮影を受け入れることをどう思うか、尋ねてみました。委員の皆様全員から子供がとても楽しんでいて、ぜひ今後も何か依頼があれば、受け入れてほしいと声があり、ほっとしました。

そういったこともあって、今月には、テレビ東京局の「おはスタ」番組の収録に協力しました。参加希望制の形が取れ、個人情報の面からも心配ないと判断し、受け入れました。テレビ番組がどんなふうに撮影され、それがどう放送されるのか、身をもって感じられる体験になります。テレビタレントと直に接する機会は、なかなかありません。今回も楽しそうに番組に参加している姿がたくさん見られました。

これも普段から温かく本校の教育活動を支えてくださる保護者、地域の皆様があつての判断です。本当にありがとうございます。今年度も残り少なくなりましたが、最後まで子供たちの健やかな成長のために頑張ります。



「おはスタ」番組収録の様子